



もうすぐお彼岸・報恩講

巻頭特集 初挑戦!「お寺参り」



大沼を望む(仏教婦人会研修旅行にて)

学生時代のことですがある先生が「あなたの親は何故あなたの親ですか」と突飛由もなしにこういう質問をされた事がありました。私の親が私の親である理由：それは私を生んでくれたからですと返答をした記憶があります。それに対して、先生は私の親が私の親である由縁は「私があなたの親ですよ」と名乗りをあげて、呼び続けに呼び続けてくれている人だからこそ、私の親なんですよと答えて欲しかったと論じて下さった事がありました。

親というものは子どもが母親の胎内に宿った時から、お腹の中の子ともに「お母さんですよ」「お父さんですよ」と名乗り続けてくれているのです。子どもはその親の名乗りを聞いて「親」を親と知り、そしてお母さん、お父さんと親のなを呼ぶようになると思うんです。「お母さん、お母さん、何も用事はないけれど、なぜか呼びたいお母さん」と言う詩を作った人がいます。「お母さん」と呼ぶのは子どもでもありますが、子どもを通してお母さんと呼ばせるのはそれはお母さんの力ではないでしょうか。

「南無阿弥陀仏」は阿弥陀さまが私にあなたの親はここにいますよ、私を親と呼んでおくれよと呼び続けによんでくださるその「呼び声」にもよおされて、親を呼ぶ声私の口からでてくるそれがお念仏であると思います。私がとなえてお念仏ですが、私をして念仏させるのは、仏様のお働きに他ならないのです。「我となえ、我聞くなれと南無阿弥陀仏、つれてゆくぞの親の呼び声」とお念仏を「親の呼び声」として味わって頂きたいものです。

輪番 廣岡 隆圓

月忌参りお休みのお知らせ

10月11日(木)~17日(水)〈報恩講〉

初挑戦!! お寺参り



お彼岸とは...
私たちが心を向ける先と、いのちとは何かということ、亡き方から教えていただく日です。
そのためには、お墓だけでなく、ぜひ本堂での法要と法話に遇わせて頂きましょう。



最寄りの電停は「十字街電停」が、「魚市場電停」です。

ホームページでも御覧になれます。
(アドレス <http://hongwanji-h.h-tk.jp/>)



▼明治初年頃の願乗寺

▼明治後期の函館別院



▼昭和9年 大火消失前の函館別院



報恩講とは...
宗祖である親鸞聖人の命日をご縁に大切なことに出遇えたことに感謝し確認していく法要です。お寺では年間最大法要で、園児の参拝や親鸞聖人の伝記の拝読など、様々なお参りが行われます。





お勤め



雅楽風景

こういったの初めて
見ました！前方の「内陣」が
すこくキラキラしています。
お寺さんもみんないます。
あ、雅楽もするんですね。



まずは法曹です。

御懇志のある方は
受付が出ていけばごへ。



聖徳太子
親鸞聖人
阿弥陀様
御代
七高僧

※法要によって
変わります。



受付



法曹では、阿弥陀様を
講えながら、お経を聴く
ことが出来ます。ぜひ一緒
にお参りしましょう。
できれば一緒に声を出して
お経を聴いてみましょう。



みなさんは、ここで
御参拝して頂きます。



仏教は、いろいろな悩みを
抱えてしまう私たちに、
何に気づくべきか大事な
ことを説かれたもの。
生きている今こそ、
ぜひ聴聞して下さい。



法話

あ、お話もあるんですね。
へえ…、お通夜で
聞くのとはちがうなあ。
仏教で死んでからのこと
だけじゃないんですね。



次のページに
お彼岸・報恩講の
日程があります。



ぜひお寺に
お参り下さい。

どうぞ思い切って、
てもお気軽に、お越し下さい。
お待ちしております!!



まずは体験!!

お寺は仏教の教えに触れ、
聞くための場所、私たちの
ための場所なんです。



平成19年 秋季 彼岸会

◆台町出張所彼岸会

(火葬場の手前)

九月二十一日(金)午後二時三十分より

◆本院(西別院)彼岸会

九月二十二日(土)～二十四日(月)

・晨朝……………午前六時三十分より

・速夜……………午後一時三十分より

※本院納骨堂及び台町墓地におきまして、二十二日(金)～二十四日(月)までおつとめを致します。二十三日(日)は本院にてラムネとおだんごを用意致しますのでどうぞご利用ください。秋のお彼岸はお花の販売は致しておりません。

平成19年 宗祖親鸞聖人 報恩講

◆台町出張所報恩講

十月十三日(土)午前十時三十分より

◆本院(西別院)報恩講

十月十三日(土)午後一時三十分より

十月十四日(日)～十五日(月)

・晨朝引き続き日中……………午前六時三十分より

・速夜……………午後一時三十分より

・初夜……………午後六時三十分より

十月十六日(火)

・晨朝……………午前六時三十分より

・満日中……………午前十時より

※十四日(日)～十六日(火)まで、おとき(食事)をご利用しておりますので、お召し上がりください。

秋季彼岸会

御講師紹介



兵庫教区 多紀組 専福寺
松島 法城 師

『ご挨拶』

この度、別院輪番様のご厚情により、九月の秋季彼岸会のご縁をご下命頂き、誠に有難く喜んで参上させて頂くことになりました。平成三年十月報恩講、平成十五年三月彼岸会に続き、三度目のご縁です。

唯今、私たちの兵庫教区では、親鸞聖人独特のお味わいである「現生正定聚」を教学テーマとして、教区内のすべての教化団体が取り組んでおります。私もあちらこちらの

ご縁で、お話をさせて頂きつつ、現代の僧俗共々の共通課題として取り組むことの大切さを感じております。今回の彼岸会のご縁には、この「現生正定聚」を中心として共に味わいを深めたいと存じております。

三度目の、お懐かしいお顔を思い浮かべ、拜眉の日、こよなく楽しみにしております。何卒よろしくご指導下さい。



これぞYOSAKOI庄巻の踊り。
『踊魂いさり火』

まずはご輪番のあいさつ。

四稜郭太鼓さんによる
オープニング。勢いづきますね〜。



お西さんの盆おどい 思い出スナップ集



各屋台大盛況！
何を食べようか迷います。

去る、平成十九年七月二十一日(土)毎年恒例のお西さんの盆踊りが、盛大に開催されました。週間天気では雨の予報、前日の予報でも雨ということでしたが、皆様の熱い熱気により、天気も回復、盆踊り日和?!になりました。そのお陰により例年になく大いに盛り上がりました。四稜郭太鼓さんによるオープニング、龍谷幼稚園児による「ソイヤ」、



大人に負けていません。
龍谷幼稚園園児によるYOSAKOI。「ソイヤー!!」



アツアツ！ホクホク！
おいしそ〜！

踊魂いさり火さんの力強いYOSAKOI、そして職員による出し物、今年はタッキー&翼??がやってきました。見るもの見るものすべての演技に感動を覚え、また各屋台の料理に舌鼓をうちながら、大盛況のうちを終えることができました。



毎年、誰が出演するかはあとのしみ。
今年なんと!あのジャニーズの二人が!?

みんな楽しんで盛り上がることは、最高ですね!

一年に二度の散策ですが、いろいろな所に出かけますので、たくさんの方々参加があると一段と楽しくなると思います。次回には是非ご参加をお待ち致しております。



覚信尼会だより

市内散策 別院・函館山レストラン

加賀 起久子

八月九日、覚信尼会恒例の市内散策が行なわれ、担当の平田さん・西村(玄)さんと会員十名の参加で函館山へ行ってきました。

別院に集合、歩き始めたところに、あいの大雨になり、全員びしょびしょ(美女女?)になりながら乗り場まで歩き、ロープウェイで山頂に。

二時間あまりでの食事、おしゃべりで楽しい時間を過ごしました。きれいな夜景は皆さん何度も見られておられる事でしょうが、この日は霧のため真っ白で何も見えず、このような景色はめったに見られない事だと皆で納得して山を下りました。

一年に二度の散策ですが、いろいろな所に出かけますので、たくさんの方々参加があると一段と楽しくなると思います。次回には是非ご参加をお待ち致しております。

婦人会だより

研修旅行 正覚寺・ホテル白樺

見付 由紀子

今回は御輪番がご出席下さいまして、会員あわせて二十一名で七飯本町にある正覚寺で参拝の後、東大沼のホテル白樺へ行きました。正覚寺は浄土真宗本願寺派十劫山正覚寺として初代住職穂積了順氏が大正八年に創立され現在は第四住職穂積広道氏が受け継がれているとのことでした。ですから百年余りの歴史があります。ここには何とも言いがたい崇高な空間が広がっておりました。又、お庭も見事に手入れされて美しいはずでした。

次に、ホテルで温泉に入り、お食事をし、カラオケや散歩をしたり、又、すすきを取った人もありました。まわりには緑が沢山あって身体に酸素を取り入れ、頭の働きも少し良くなつて帰ってきました。

大変有意義で楽しい一日でした。



婦人会 9・10月の行事予定

- ◆ 9月23日 団子・ラムネ販売
 - ◆ 10月9日 おみがき・掃除
 - ◆ 10月12日、16日 宗祖報恩講
- ・接待と食事の準備

ボーイスカウトだより

キャンボリーの出来事

ボーイ隊 福尾 和哉

僕は最初北見で行なわれるキャンボリーはきつくて大変だと思っていました。それでも札幌で開催された仏教章取得の研修会のように行ってから意外と面白かったみたいです。今回も楽しめたと思います。思っていた通りすくく明るい友達も出来てすくく楽しかったです。

今回のキャンボリーで心に残った事がいくつかあります。一つ目は友達のことです。友達が出来ると不安だっただけで明るい友達、面白い友達などがたくさん出来て嬉しかったです。名刺交換をした人が年賀状を送ってくれると言ってくれたので楽しみにまっています。二つ目は野営班の仕事です。テントを立てるだけかと思っていたけど五十人分の食卓テーブルを作る為に丸太を運んだり釘打をしたり椅子を作ったりと大変な仕事がたくさんありました。こんなに大変な仕事をしたのは久しぶりだと思いました。

最後にこのキャンボリーで学んだことは天気はいつも晴ればかりではないから雨が降ったら状況に

合わせて行動しないといけないし、時間に合わせて出来るだけ早く作業をおわらせるといふことでした。このキャンボリーが役に立ってくれればいいと思いました。



北見での大会

カブ隊 入村智宏

ぼくは、バスに乗って北見の大会の会場にきました。まず開会式です。開会式では、札幌2団がおくられてしまいました。次に、ミニソーラーカーを作りました。こまかいパーツがあつたけど二人で作ることができました。次に果夢林ワールドに行きました。まず、山の水族館に行きました。すごいと思ったのは、大きなカメラがえさのチカを、バックといっしょにたべてしまったことです。次に木工体験でチーフリングをつくりました。ぼくは「ともひろ」という名前のイニシャルのものをとって、Tという英語をかきました。そして、電動の糸のこをつかって切りました。そしてやすりで形をととのえて完成しました。最後に、アスレチック広場

であそびました。アスレチックではいろいろな友達をつくることができました。次にハッカ記念館を見学しました。まず、おじさんがハッカからはメンソールがとれ、メンソールはシツブ、目ぐすりにはいってるとおしえてくれました。その後おみやげ屋さんについてハッカのおかしなどみました。次にプラネタリウムを見ました。プラネタリウムでは星のせつめいや、ぎんが鉄道の夜をみました。おもしろかったです。最後にキャンプファイヤーです。ほかの団は歌やげきをやっていました。ぼくたちは「いか踊り」をやりました。感想、たのしい北見の大会でした。またこんどの大会もたのしい思い出になるようにしたいです。



江差別院だより

風唄う町から

一本堂建立

安政五年、上磯郡濁川村に五十万坪という広大な土地を得て布教につとめた宣法庵も、明治維新の制度改革から土地を奉還したため、その維持運営は難しくなつた。この時江差の門徒、西澤喜藏



氏ら三十人が運動して、明治十一年六月一日許可を得て宣法庵を江差の今のところに移転、翌十二年九月二日北海道庁の認可を得て、本願寺江差別院となつた。宣法庵が江差に移され別院と公称されるようになってから西澤喜藏氏はさっそく本堂の建立に活躍した。本堂がいつ上棟されたか、つまびらではなかつたが、昭和四十年、親鸞聖人七百回大遠忌にあつて本堂・庫裏修復に際し、屋根裏の棟札から明治十三年十月二十四日に上棟式が行なわれたことが分かっている。この本堂建築にあつて西澤氏は用材を二手に引き受け、遠く生国江州(現在の滋賀県)で切り込み、千石船で海上を輸送し献納、また仏具など必要なものすべてを調達した。落成時には参詣者は本堂にあふれ、念仏の声は万雷の響きとなつて伝えられている。以降、戦火を逃れ、当時のままの建造物として近年、北海道教育委員会等各方面の調査が行われている。吉村

頑張ったよ!

Kくん「いす取りゲーム負けた。勝ちたかったなあ。」
先生「負けちゃったの～。残念だねー。」
と二人で暗くなっていると…
Rちゃん「Kくんだって今日は頑張ったよ。頑張った!頑張った!」と真剣なまなざしで励ましてくれる優しいRちゃんです。

ぶつかった…

友達と先生がボール遊びをしていて先生がボールを受け取り損ねました。そして…
Sくん「ぶつかった～」
先生「ごめ～ん!大丈夫?」
Sくん「うん。大丈夫。」
その数分後…
Sくん「先生!さっき、ここも、ここも、ここも、ぶつかったよ!」
先生「そんなにぶつかった?」

はずかしい…

先生「写真撮らせて～!こっち見て～!」
ふじ組女の子たち
「いや～。はずかしい…」
そう言って逃げていきます。それはなぜかというところんこ遊びで上半身が裸だったからです!
おませな、ふじ組の女の子たちです。

かってあげるよ!

先生「暑い～!アイス食べたいなあ…。かき氷食べたいなあ…。」
そこへ…
Sくん「先生買ってあげるよ!」
先生「いいの～?ありがとう!」
Sくん「明日持ってくるね!」
本当に持ってくるのかなあ??

学校法人

龍谷幼稚園 だより

こどものつぶやき



預かり保育 さんさん 灿灿 クラブ ご案内

- ◎お仕事をしているお母さんのために。
- ◎用事でしばらくみて欲しい人のために。
- ◎幼稚園の保育がすんだあと夕方6時30分までお預かりします。

- ★対象 龍谷幼稚園児並びに2歳以上の弟妹
- ★担当 幼稚園の先生
- ★内容 保育終了後毎日/幼稚園振替日/夏・冬休み
- ★保育料 園までお問い合わせ下さい。

平成
19年度

園児募集

人の心のやさしさ(慈悲のこころ)を伝える宗教保育

りゅうこくようちえん
龍谷幼稚園

願書受付中

龍谷幼稚園 ☎23-0274

ホームページアドレス <http://ryukoku.h-tk.jp/>